

知っていますか？図書館の便利なサービス

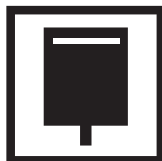
資料を返すときの3つの便利な方法

図書館が閉館している時間や遠方にお住まいの方など、
ライフスタイルに合わせて以下の3つの方法で資料をご返却いただけます。

返却ポスト

和歌山市民図書館、西分館、各コミュニティセンター図書室
(河西コミュニティセンター除く)の閉館時でも
建物に備え付けの返却ポストに資料を返却いただけます。

※ CD、レコードなどの視聴覚資料は利用できません。
直接図書館カウンターへお持ちください。



市内の返却場所

ガーデンパーク和歌山、南海和歌山大学前駅西口、
WAY書店TSUTAYAオークワ本社店、
ファミリーマート和歌山内原店、一部支所・連絡所等で
返却いただけます。

※ 返却できる場所、時間は公式 HP をご確認ください。



宅配返却

全国一律500円(税込)で、ご自宅から資料を
ご返却いただけるサービスです。
専用袋はお申し込み受付時にお渡しいたします。
本を専用袋に入れ、運送会社に集荷を依頼するか、
お近くのコンビニや運送会社の営業所へお持ち込みください。

※ CD、レコードなどの視聴覚資料は利用できません。
直接図書館カウンターへお持ちください。



図書館だより

vol.15
2026.08.01

和歌山市民図書館
WAKAYAMA CIVIC LIBRARY

HP instagram Facebook



Library News



旧館の開館から45周年！旧館と同じ年に生まれた作家の 似鳥鶏さんによるトークイベントとサイン会を開催しました。

昭和56年(1981年)7月28日に開館した和歌山市民図書館は、市民の皆さまに支えられ今年で45周年を迎えました。7月19日には同じく昭和56年生まれの作家・似鳥鶏さんをお迎えし、トークイベントとサイン会を開催しました。人気作の制作秘話から作家を目指したきっかけなどお話しいただき参加者からもたくさんの質問が飛び交う楽しいひと時となりました。

目次

テーマで読む本の世界 / 資料を返すときの3つの便利な方法

ことばに 出会う、 人生に出会う

日々の生活の中で、ふと立ち止まり、自分を見つめ直す瞬間があるのではないのでしょうか。そういうときに、本の中的ことばが、心をほどいてくれることがあります。そんな一冊との出会いを見つけてみませんか。



『幸福の法則 一日一言』
宇野千代／著 海竜社

賢い人は幸福の習慣で生きる。心に思うことは念力になって人生を変える。一歩行動すれば、そのあとにまた新しい行動が生まれてゆく。幸福人生の天才が遺した、一日一言形式の不朽の言葉。



『茨木のり子
「言の葉」のいのり』
河出書房新社編集部／編 河出書房新社

「自分の感受性」だけをつらぬきながら、やさしい言葉で生の真実を問うた詩人・茨木のり子の魅力に迫る。代表詩選のほか、井坂洋子と小池昌代の対談、谷川俊太郎のインタビュー等を収録する。



『きみを変える 50 の名言』
谷川俊太郎、フジコ・ヘミングほか／
佐久間博文 汐文社

わずか一行の言葉で、人は癒されたり悩みから解放されたりもする。高田敏子、谷川俊太郎、水木しげる、フジコ・ヘミング…。琴線に触れる、文学界・芸術界の著名人の名言50を紹介する。



『アイデアの毎日
今日の一步を、何より大切に。』
松浦弥太郎／著 三笠書房

人生を大きく変えるのは、今日一日の「アイデア」の積み重ね。「まずは10日間続ける」「自然の音に耳をすませる」「ゆっくり読む」など、ささやかだけど確かな、154の処世術を紹介する。



『一步が踏み出せなかった私へ』
最高に楽しく生きる先輩 20 人が
明かすどん底だったときの話』
日経 Woman／編 日経 BP

ビジネス、文化・芸能など、さまざまなジャンルの第一線で活躍する先輩たちが、迷いの渦中にある働く女性たちへ、自身の経験を踏まえヒントやアドバイスを送る。



『血肉となる読書』
なぜ読むことだけが人生を変えるのか』
斎藤幸平、小川公代、安田登、秋満吉彦／著
あさま社

世界の見え方が変わる、本の読み方入門。本を単なる「情報」で終わらせず「血肉」にしていくための読書術を紐解く。



『言葉を生きて』
考えるってどういうこと？』
池田 晶子／著 筑摩書房

言葉はどうして伝わるんだろう！その驚きが、君の力になる。「14歳からの哲学」の著者・池田晶子が、「心はどこに」「私とは何か」「言葉の力」などについて考察する。「考える」ヒントが満載の本。



『下積み図鑑』
すごい人は無名のとき何をしていたのか？』
真山知幸／著 笠間書院

つらいときも絵を描き続けたトニー・ヤンソン、何でも熱心に学んだ小栗忠順…。偉人たちが世に知られる前の下積み時代をどのように過ごして、自分の道を突き進んだのかを紹介する。



『たいせつなこと』
マーガレット・ワイス・ブラウン／さく
レナード・ワイスガード／え
うちだ ややこ／や フレーベル館

1949年にアメリカで出版されて以来よみつがれてきた名作を、半世紀の時を超えていま、こどもたちに。たいせつなことはなにかを、やさしく詩的な文章で語りかける。